

経済産業省北海道経済産業局との共催による 「北海道☆RESASデータ分析フォーラム」の開催

地域経済分析システム(RESAS:ビッグデータ)を活用し、 大学生が政策アイデアを紹介するフォーラムを道内初開催

平成28年10月7日、大学生がビッグデータ分析に基づき考えた政策アイデアを紹介するフォーラムを開催。当日は、学生や自治体職員など約200名が参加しました。本フォーラムでは、学生や自治体職員などがRESASの活用ノウハウを共有することで、ビッグデータを活用し地方創生を下支え・加速化させる人材の育成、地方創生に向けた客観的データに基づく政策立案の支援を目的としました。フォーラムでは、学生の発表に対して専門家がコメントするなど、政策アイデアの磨き上げを行いました。

大学	テーマ
小樽商科大学	地場産業の高度化と交流人口の増加による岩内町の持続的な地域づくり戦略
札幌大学	広域岩見沢市に新たな観光の魅力をつくる一帯在型観光政策
北海学園大学	広尾町の質的・量的な現状分析をつじた地域活性化策の提案—『サンタランド』の活性化に向けて
釧路公立大学	釧路市観光スポットの来訪者分析
北海道教育大学函館校	RESASから捉え直す北海道最古の祭り — 江差町の地域経済を御神酒の地産地消で元気にする

小樽商科大学(大津ゼミ)の政策アイデアが 内閣府主催『地方創生☆政策アイデアコンテスト2016』で全国2位の快挙

平成29年1月21日、内閣府主催で開催された「地方創生☆政策アイデアコンテスト2016」では、全国からの応募総数486件(大学生以上一般の部)のうち、小樽商科大学大津ゼミの政策アイデアが全国2位となる『優秀賞』を受賞しました。

優秀賞(大学生以上一般の部)

「岩内町 超積極戦略で“稼ぐ力”をパワーアップ」

提案者:小樽商科大学 大津ゼミ 分析対象自治体:岩内町、ニセコ町



コンテストでは、演技を交えるなど趣向を凝らしたプレゼンを披露

大学と自治体との連携に協力していくとともに、
若者の活力とアイデアを活かした地方創生の取り組みを道内自治体に広めていきます。

北海道学生研究会 SCAN

★第8回合同研究発表会★

当日タイムテーブル

★SCANとは何か？
平成22年に北海道の学生により創設
された学生団体です！学生・企業・地域を結びつけて、地域活性化への貢献を目的とした活動をしています！

【今年度大会テーマ】

メインテーマは「**地域イノベーション**」

サブテーマに「**地域特性の活用**」

「**スポーツコミュニケーション**」

というテーマに基づき研究発表を行います。

日程： 2017年11月25日(土)

開場： 10時 00分 開演： 10時 30分

会場： 札幌大学

内容： テーマをもとに研究した内容を各班に発表してもらい、その中から優秀論文を選出します。

目的： 地域活性化につながる政策提言を行うこと
で北海道の地域発展に貢献し、なおかつ地域行政や住民、企業との交流を深め地域社会への貢献促進を目的とする。

時間	内容	場所
10：30～10：40	開会式	SWING
10：40～11：00	移動・準備	
11：00～11：30	1組目	札幌大学 6号館5階の (6502、
11：35～12：05	2組目	6503、
12：10～12：40	3組目	6504) 教室
12：45～13：30	お昼休憩	
13：35～14：05	4組目	
14：10～14：40	5組目	
14：45～15：00	移動・休憩	
15：00～16：40	企業のPRコーナー	SWING
16：50～17：20	RESAS紹介	
17：20～17：45	閉会式	
18：00～20：00	交流会	学内食堂 ソデソ

交流会は札幌大学リソデソホール
イースト2Fサビオにて行われます。
学生参加費：2,500円 一般参加費：3,000円

クラウドファンディングがはじめました！

<http://actnow.jp/project/scan/detail>



ご支援よろしく
お願いいたします！



- SCAN公式ホームページ
<http://scan-946.jimdo.com/>
- SCANブログ
<http://ameblo.jp/gakuseiscan/>
- SCANツイッター
https://mobile.twitter.com/scan_946

北海道学生研究会 SCAN

検索



主催：北海道学生研究会 SCAN
共催：株式会社北海道銀行
株式会社道銀地域研究所
北海道新聞社
札幌大学経済・経営学会

ものづくり系大学・四高専連携 「COC+(シーオーシープラス)企業説明会」

「COC(Center Of Community)+」とは、文部科学省が各地で取り組む「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」の略称で、道内では自治体や教育機関、民間企業の協働で、学生の地元就職率の向上を目的とした「COC+～ オール北海道雇用創出・若者定着プロジェクト」を展開。

「北海道のものづくり産業」の将来を担う優秀な人材の定着に向けて

北海道銀行では、平成19年に道内の四高専と産学連携協力に関する協定を締結して以降、道外への人材流出を抑制し、地元定着を促進するため、さまざまな取組を進めてきました。

平成28年度は、新たにものづくり系大学を加えた枠組みで、教職員の皆さまに道内企業への理解を促進し、優秀な学生と道内企業のマッチング実現を目指した「COC+企業説明会」を開催しました。

道内に生産及び営業拠点を置く企業が、ものづくり系大学と四高専の教職員向けに自社の事業内容や人材募集について説明するとともに、教職員の方々と意見交換する機会を創出しました。

COC+企業説明会概要

日時：平成28年11月19日 9:30～ 18:30

参加学校：旭川高専、釧路高専、苫小牧高専、函館高専、北見工業大学、北海道科学大学

参加企業：ものづくり産業・食関連産業等 36団体



企業からのプレゼンの様子
(36団体が3会場に分かれてプレゼンを実施)



大学や高専から企業へのプレゼンも実施し、相互理解を醸成

北海道銀行では、四高専と連携し、平成23年度から教職員向けの企業説明会を毎年開催しており、
今回で通算6回目の開催となりました。

引き続き、優秀な人材の地元定着により、地域産業の活性化に取り組んでいきます。

札幌市・北海道科学大学と連携した「地元IT企業見学ツアー」

大学生の就職時における地元定着を目指して、企業見学ツアーを初開催

札幌圏では、若年層の道外への転出超過が顕著であり、地方創生に向けた課題の一つとなっています。特に就職時に理系学生が道外へ流出する傾向があることから、理系学生の地元定着と地元企業に対する理解を促進するため、平成28年10月に北海道科学大学の学生を対象とした「地元IT企業見学ツアー」を開催しました。本取り組みでは、札幌に集積するIT企業の現場を大学生が見学し、経営者や働く方の生の声に直接触れることで、高い技術力を持つ地元企業への理解を深めてもらい、地元就職を具体的にイメージできる機会づくりを目指して、北海道銀行と札幌市が共同開催しました。

見学ツアー概要

日時：平成28年10月21日 13:00～ 17:00

対象：北海道科学大学 工学部情報工学科在籍の学生 20名

見学先：札幌市と北海道銀行が連携し、見学先企業4社を北海道科学大学に紹介し実現しました。

クリプトン・フューチャー・メディア株式会社 様	株式会社HDC 様
株式会社シーズ・ラボ 様	株式会社メディア・マジック 様



企業見学ツアーの様子



クリプトン・フューチャー・メディア株式会社 様



株式会社HDC 様

北海道銀行では、従前から道内4つの高専(函館・苫小牧・釧路・旭川)との連携を通じ、理系学生の地元定着に取り組んできました。

■ 今後はこれまでのノウハウや本取り組みの成果などを踏まえ、学生の地元定着に積極的に取り組んでいきます。